

よむよむNEO No.7

R2.4.21(火)

わたしの身体にありがとう!!

「はたらく細胞」01~05
清水茜・作 (講談社)
コミック



「おまたせました。——。
こちら本日分の酸素になります!
ここにハンコおねがいします」
赤いキャスケットにジャケットにショーパン。
宅配業の元気ムスメの名は「赤血球」。

「いいか、細菌は一匹も逃がすな!
白い作業服に身を包んだ強面の
イケメンくん。その名は「白血球」。

「ふふふ、大丈夫ですか?
ウイルスさん、ずいぶん増えちゃってるのね♡」
天使のような笑顔でナタを振るう
きれいなお姉さん「マクロファージ」……

擬人化コミックは数々あれど、これはまちがいなく傑作の一つ!
体内細胞擬人化・お仕事コミックです。
とにかく、キャラの立ち具合が半端じゃない!
どの細胞もかこよくて健気です。
そしてそれぞれが自分の持ち場でけんめいに働いて、
日々私たちの身体を守ってくれています。



おいらが 仇をうっよ

「むかしむかしあるところに、
死体がありました。」
青柳碧人・作 (双葉社)

NDC.913

「心やさしいおじいさんが、
ある朝、丘の斜面で死んでいた!
第一発見者は、飼いだのシロ。
犯人はいたい……?」

昔話に、血なまぐさい殺人事件をおり込んでしまう
なんとも不謹慎なミステリー!
青柳碧人の手にかかるとは、ほのぼのした昔話もがらりと色を変え。
人の心の闇を垣間見してしまったような気持ちにさせられます。
あのいっすんぼうしが、花さかじいさんがうらしまたろうか、
いやはやこんなことになろうとは……
ゾクッとします。ああ、読まなきゃ良かった……(でも読みたいてしょ?)

コハトの日記 4月15日

きょうは、ちばな山のさくらの下で
おむすびをたべたよ。はなびらが
ひらひらおちてきて、とてもきれいだっつよ。
おやつにさくらもちがたべたいなあ。



カゼ、すりきず、花粉症、インフルエンザ……
「私の体内で日々こんなことが!?!」と思うと、萌えます!
自分の細胞にありがとう!と言いたくなります。
こんな今だからこそ、特に読みたいコミックです。

